


海外感染症情報

学術データインフォメーション課

☎フリーダイヤル 0120-14-8734

発生地域	更新年月日	情報内容
—	2011年10月18日	洪水と感染症について ★
アフリカ	2011年10月14日	チャドやコンゴ民主共和国などでコレラの大流行が続いています。
太平洋州	2011年10月12日	オーストラリア南西部における蚊媒介性感染症のリスクについて
東南アジア	2011年10月11日	インドネシアで新たな鳥インフルエンザの患者が報告されました。
アフリカ	2011年10月04日	ケニア北東部でデング熱が広まっています。
東アジア	2011年09月30日	野生型ポリオへの感染が中国で確認されました。
—	2011年09月29日	アメリカでリステリア症による死亡例が報告されています。
ヨーロッパ	2011年09月29日	エストニアでA型肝炎が流行しています。
ヨーロッパ	2011年09月28日	ギリシャでマラリア症例が発生しました。
南アジア	2011年09月21日	パキスタンからのポリオウイルス拡大について

※特に注目すべき情報をピックアップして掲載しています。★…詳細情報を下段に掲載しています。

情報源：厚生労働省検疫所ホームページ(<http://www.forth.go.jp/index.html>) 新着情報、最新ニュース

【2011年10月18日更新 洪水と感染症について】

アジアや中米、ケニアなどで洪水により健康リスクが高まっています。

洪水は以下のような感染症にかかるリスクが高まる可能性があります。

- ・水系感染症；腸チフス、コレラ、レプトスピラ症、A型肝炎など
- ・ベクター媒介感染症；マラリア、デング熱やデング出血熱、黄熱、ウエストナイル熱など

水系感染症

洪水は感染症のリスクを増大させる可能性があります。人口の大移動を伴ったりせず、または水源が汚染されなければリスクは低いものです。洪水により大流行が起こる最大のリスク因子は飲料水設備の汚染ですが、たとえそれが起こっても、1993年のアイオワとミズーリ州のように、リスクをよく理解し清潔な飲料水への対策を第一とした災害対策を重視した結果、被害を最小限に食い止められた例もあります。

・汚染水に直接接触することでも水系感染症のリスクは増大します。例えば、創傷感染、皮膚炎、結膜炎、耳鼻咽喉感染症です。しかしこれらの疾患は、大流行は起こしません。

・汚染水から直接伝搬され大流行を起こす可能性のある感染症は、レプトスピラ症で、これは動物由来細菌感染症です。齧歯類の尿で汚染された水、湿った土壌や植物（サトウキビなど）、泥などに、皮膚や粘膜が接触することで感染します。大雨の後の洪水で、尿中に多数のレプトスピラを排泄する齧歯類が増加し、病原菌が広まりやすくなります。環境の変化により伝搬を促すベクター（齧歯類）数が増加しているようです。

〔補足〕大洪水に見舞われたタイなどでは、レプトスピラ症が毎年数千人規模で発生しています。今後の大流行が懸念されます。